

第43期教育研究員検証保育・検証授業終了
ラストは上原亜矢教諭！

去る1月29日(金)に第43期教育研究員の上原亜矢教諭の検証保育を南風原町立北丘幼稚園で実施しました。伊良皆園長先生、南風原町教育委員会の宮里豊主任指導主事も参観してくださいました。幼稚園の研究は仮説を立てずに、研究テーマに基づき、保育実践を積み重ねていくことで保育の改善を行い、保育の質を高め、教師の保育力の向上と幼児の成長・発達を測る実践型の研究です。亜矢教諭は、幼児が互いの思いを伝え合い友達とかかわる遊びを通して協同することの喜びを培う環境構成と援助を研究しています。保育では、「コマ回し」「レストランへようこそ(製作遊び)」「手作りすごろく」の場で、幼児が自分の考えや思いを伝え合い、友達と共通の目標に向かって遊びを楽しく進めていく様子が展開されていました。特に、ふり返りの場面では、みんなで楽しかったことや工夫したことを発表することで、学級全体で思いを共有することができ、ワクワク、どきどき感が教室中にあふれました。南風原町宮平に在する北丘幼稚園は、高台にあります。園舎の増築中で園庭が使用できませんが、子ども達は、園舎の中で生き生きと活動していた検証保育でした。この検証保育をもちまして、後期教育研究員5人全員の検証保育・検証授業が終了しました。協力していただきました、市町教育委員会の皆様、所属校の園長先生、校長先生、職員の皆様、どうもありがとうございました。今後は、3月25日の報告会に向けて、研究のまとめを行っていきます。

【研究テーマ】

〈幼稚園教育〉
幼児が協同して遊ぶようになるための
環境構成と援助の工夫
～思いを伝え合い友達とかかわる遊びを通して～

【検証保育における検証の視点】

- (1) 思いを伝え合いながら友達とかかわり、工夫して遊びを楽しむ姿がみられたか。
- (2) 幼児の思いや考えを受け止め、幼児同士をつなぐような仲立ちをしているか。(教師の支援)
- (3) 友達と一緒に共通のイメージや目的をもって遊ぶ楽しさを味わうための教材(素材)や遊具、用具の用意がなされているか。(環境構成)

【検証保育研究会の会順】

- 1 園長あいさつ 北丘幼稚園長 伊良皆マサ子
- 2 保育者の反省
 - (1) これまでの保育についての概要の説明
 - (2) 今日の保育について
- 3 質疑応答、討議
 - (1) 検証保育における質疑 (2) 検証の視点をもとに討議
- 4 指導助言 島尻教育研究所指導主事 大城美恵子
- 5 所長あいさつ 島尻教育研究所長 上原雅志



写真1 検証保育の様子



写真2 検証保育研究会の様子



写真3 北丘幼稚園にて

「検証保育を終えて」 上原亜矢

今日は私の本時の検証保育でした。これまで意図として整えてきた環境や援助が、子ども達の友達と夢中になって遊ぶ姿からつながってきていたんだと読み取ることが出来ました。協同を意識しすぎるばかりに、“遊びが楽しい”事にみんなで共有することが足りなかったと反省もあります。個々に応じた細やかな対応ができるのも幼稚園だからこそです。その時期にかかわる大人の一人として教師の役割はととても重要なのだと再確認しました。これから検証のまとめに入ります。研究のキーワードとなるものはなんだったのか確認し、テーマに振り返りながらまとめ方も工夫していけたら良いです。今日の検証保育では、たくさんの方の参観がありました。色々な視点で質問したり、幼稚園教育を理解しようという視点に立って一緒に考えて下さった指導講師の美恵子指導主事、指導主事の先生方、上原所長、ありがとうございました。南部広域行政組合の方も参観して下さい、ありがとうございました。